

令和5年度品川区障害福祉計画実績について

第6期品川区障害福祉計画および第2期品川区障害児福祉計画は、障害者総合支援法第88条第1項および児童福祉法第33条の20に基づく、障害児者が利用する障害福祉サービス等の確保に関する計画であり、令和3年度から令和5年度の3ヶ年を計画期間として策定しました。

本資料にて、令和5年度の計画実績を報告します。なお、本資料の計画実績は、品川区障害福祉計画推進委員会（令和6年3月27日開催）で報告した計画実績（令和5年4月～令和6年1月分）に、令和6年2～3月分の実績を合算したものです。

目 次

1. 品川区の障害児者の状況	1
(1) 身体障害者手帳所持者数.....	1
(2) 愛の手帳所持者数	1
(3) 自立支援医療費（精神通院）および精神障害者保健福祉手帳.....	1
2. 成果目標の達成状況.....	2
3. 障害福祉サービス	12
(1) 訪問系サービス	12
(2) 日中活動系サービス	13
(3) 居住系サービス	15
(4) 相談支援.....	16
4. 児童福祉法に基づく障害児支援.....	17
(1) 障害児通所支援	17
(2) 相談支援.....	17
5. 地域生活支援事業	18
(1) 必須事業.....	18
(2) 任意事業.....	20

1. 品川区の障害児者の状況

(1) 身体障害者手帳所持者数

(各年4月1日現在) 単位：人

区分	年度	R4年度	R5年度	R6年度			
				18歳未満	18歳以上	合計	1・2級者
視覚障害		614	606	5	609	614	369
聴覚障害等		808	819	64	759	823	287
音声機能障害等		137	136	2	134	136	18
肢体不自由		4,047	3,896	85	3,732	3,817	1,498
内部障害		3,595	3,557	48	3,496	3,544	2,352
合計		9,201	9,014	204	8,730	8,934	4,524

(2) 愛の手帳所持者数

(各年4月1日現在) 単位：人

区分	年度	R4年度	R5年度	R6年度		
				18歳未満	18歳以上	合計
1度		68	66	5	64	69
2度		526	537	142	415	557
3度		541	558	153	403	556
4度		954	1,033	309	767	1,076
合計		2,089	2,194	609	1,649	2,258

(3) 自立支援医療費(精神通院)および精神障害者保健福祉手帳

単位：人

年度	自立支援医療費(精神通院) 合計												手帳認定合計(単年度)			手帳保持者数合計					
	高齢期精神障害(認知症など)	アルコール・薬物問題	統合失調症圏	そううつ病圏	神経症圏	摂食障害・睡眠障害等	人格障害・ギャンブル依存	知的障害	心理的発達障害	多動性障害・行為障害・緘黙等	てんかん	その他	1級	2級	3級						
3	173	137	1,285	2,788	424	20	36	67	273	271	321	373	6,168	101	887	959	1,947	169	1,601	1,682	3,452
4	202	139	1,347	3,188	470	19	35	78	301	341	369	491	6,980	102	882	1,048	2,032	203	1,769	2,007	3,979
5	204	132	1,354	3,414	500	25	38	73	323	351	375	495	7,284	105	1,025	1,236	2,366	207	1,907	2,284	4,398

(各年3月31日現在)

(令和6年度健康推進部事務事業概要より抜粋)

2. 第6期品川区障害福祉計画・第2期品川区障害児福祉計画 の成果目標の達成状況

成果目標Ⅰ		施設入所者の地域生活への移行																																																												
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和5年度末までの目標】</p> <p>①地域生活移行者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10人(3.7%)</td> <td>令和元年度末時点の施設入所者数(271人)のうち、2%以上(6人)と前計画での未達成分4人が障害者グループホーム等へ移行することを基本とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②施設入所者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>271人を超えない</td> <td>令和元年度末時点の施設入所者数(271人)を超えないことを基本とする。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方	10人(3.7%)	令和元年度末時点の施設入所者数(271人)のうち、2%以上(6人)と前計画での未達成分4人が障害者グループホーム等へ移行することを基本とする。	目標値	目標値設定の考え方	271人を超えない	令和元年度末時点の施設入所者数(271人)を超えないことを基本とする。																																																	
	目標値	目標値設定の考え方																																																												
10人(3.7%)	令和元年度末時点の施設入所者数(271人)のうち、2%以上(6人)と前計画での未達成分4人が障害者グループホーム等へ移行することを基本とする。																																																													
目標値	目標値設定の考え方																																																													
271人を超えない	令和元年度末時点の施設入所者数(271人)を超えないことを基本とする。																																																													
主な内容 (実績等)	<p>【実績】 ※各年度3月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①地域生活移行者数(累計値)</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>②施設入所者数</td> <td>269人</td> <td>275人</td> <td>271人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な活動指標】 ※各年度3月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>人/月</td> <td>208 [67]</td> <td>246 [94]</td> <td>218 [70]</td> <td>258 [108]</td> <td>228 [73]</td> <td>279 [104]</td> </tr> <tr> <td>地域移行支援</td> <td>人/月</td> <td>10 [7]</td> <td>4 [4]</td> <td>12 [9]</td> <td>1 [1]</td> <td>14 [10]</td> <td>5 [5]</td> </tr> <tr> <td>自立生活援助</td> <td>人/月</td> <td>1 [0]</td> <td>0 [0]</td> <td>2 [2]</td> <td>0 [0]</td> <td>3 [2]</td> <td>4 [4]</td> </tr> <tr> <td>地域定着支援</td> <td>人/月</td> <td>0 [0]</td> <td>0 [0]</td> <td>0 [0]</td> <td>1 [1]</td> <td>0 [0]</td> <td>0 [0]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※[]内は精神障害者の内数</p>				区分	R3年度	R4年度	R5年度	①地域生活移行者数(累計値)	2人	3人	3人	②施設入所者数	269人	275人	271人	区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度		見込	実績	見込	実績	見込	実績	共同生活援助	人/月	208 [67]	246 [94]	218 [70]	258 [108]	228 [73]	279 [104]	地域移行支援	人/月	10 [7]	4 [4]	12 [9]	1 [1]	14 [10]	5 [5]	自立生活援助	人/月	1 [0]	0 [0]	2 [2]	0 [0]	3 [2]	4 [4]	地域定着支援	人/月	0 [0]	0 [0]	0 [0]	1 [1]	0 [0]	0 [0]
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																																											
①地域生活移行者数(累計値)	2人	3人	3人																																																											
②施設入所者数	269人	275人	271人																																																											
区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度																																																								
		見込	実績	見込	実績	見込	実績																																																							
共同生活援助	人/月	208 [67]	246 [94]	218 [70]	258 [108]	228 [73]	279 [104]																																																							
地域移行支援	人/月	10 [7]	4 [4]	12 [9]	1 [1]	14 [10]	5 [5]																																																							
自立生活援助	人/月	1 [0]	0 [0]	2 [2]	0 [0]	3 [2]	4 [4]																																																							
地域定着支援	人/月	0 [0]	0 [0]	0 [0]	1 [1]	0 [0]	0 [0]																																																							
区分	評価(C)および改善(A)																																																													
令和5年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>地域生活移行数については、目標値を達成することができなかった。施設入所者数については、令和6年度3月末時点で271人となり、目標値を達成した。</p> <p>令和4年度末に「品川区地域自立支援協議会相談支援部会」で施設入所者に対して、地域生活移行に関するアンケート調査を実施し、令和5年4月集計結果として、19人の地域移行対象者を把握した。</p> <p>令和5年度は調査結果から、本人の移行希望の確認ができた人について、優先的に取り組み、本人の移行希望が確認できていない人についても、意思決定支援など必要な支援を行った。その結果、37人の施設入所者の地域移行に取り組み、令和6年3月時点で3人の地域移行が実現した。ただし、具体的な働きかけを行ったのが、令和5年度からであり、目標値の達成までには至っていない。</p> <p>令和6年度も引き続き、地域移行の取組みを着実に進めるとともに、地域の住まいとなるグループホームの整備を進めていく。</p>																																																													

成果目標 2		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築																																																																
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和 5 年度末までの目標】</p> <p>①協議の場の開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年 1 回以上</td> <td colspan="3">当事者および保健・医療・福祉に携わる人を含む様々な関係者が情報共有や連携を行い、支援体制の整備を進めるため、「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②協議の場への参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25 人/回</td> <td colspan="3">保健、医療、福祉、介護、当事者・家族等、行政機関、学識経験者の参加人数</td> </tr> </tbody> </table> <p>③目標設定及び評価の実施回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 回/年</td> <td colspan="3">「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用し、目標設定および評価を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方			年 1 回以上	当事者および保健・医療・福祉に携わる人を含む様々な関係者が情報共有や連携を行い、支援体制の整備を進めるため、「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用する。			目標値	目標値設定の考え方			25 人/回	保健、医療、福祉、介護、当事者・家族等、行政機関、学識経験者の参加人数			目標値	目標値設定の考え方			1 回/年	「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用し、目標設定および評価を実施する。																																							
	目標値	目標値設定の考え方																																																																
年 1 回以上	当事者および保健・医療・福祉に携わる人を含む様々な関係者が情報共有や連携を行い、支援体制の整備を進めるため、「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用する。																																																																	
目標値	目標値設定の考え方																																																																	
25 人/回	保健、医療、福祉、介護、当事者・家族等、行政機関、学識経験者の参加人数																																																																	
目標値	目標値設定の考え方																																																																	
1 回/年	「品川区精神保健福祉地域連絡会」等を活用し、目標設定および評価を実施する。																																																																	
主な内容 (実績等)	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①協議の場の開催回数</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> <tr> <td>②協議の場への参加人数</td> <td>21 人</td> <td>26 人</td> <td>25 人</td> </tr> <tr> <td>③目標設定及び評価の実施回数</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な活動指標（精神障害者のみ）】 ※各年度 3 月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R3 年度</th> <th colspan="2">R4 年度</th> <th colspan="2">R5 年度</th> </tr> <tr> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>人/月</td> <td>67</td> <td>94</td> <td>70</td> <td>108</td> <td>73</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>地域移行支援</td> <td>人/月</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>自立生活援助</td> <td>人/月</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地域定着支援</td> <td>人/月</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	①協議の場の開催回数	1 回	1 回	1 回	②協議の場への参加人数	21 人	26 人	25 人	③目標設定及び評価の実施回数	1 回	1 回	1 回	区分	単位	R3 年度		R4 年度		R5 年度		見込	実績	見込	実績	見込	実績	共同生活援助	人/月	67	94	70	108	73	104	地域移行支援	人/月	7	4	9	1	10	5	自立生活援助	人/月	1	0	2	0	2	4	地域定着支援	人/月	0	0	0	1	0	0
区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																																															
①協議の場の開催回数	1 回	1 回	1 回																																																															
②協議の場への参加人数	21 人	26 人	25 人																																																															
③目標設定及び評価の実施回数	1 回	1 回	1 回																																																															
区分	単位	R3 年度		R4 年度		R5 年度																																																												
		見込	実績	見込	実績	見込	実績																																																											
共同生活援助	人/月	67	94	70	108	73	104																																																											
地域移行支援	人/月	7	4	9	1	10	5																																																											
自立生活援助	人/月	1	0	2	0	2	4																																																											
地域定着支援	人/月	0	0	0	1	0	0																																																											
区分	評価 (C) および改善 (A)																																																																	
令和 5 年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>令和 5 年度から「品川区精神保健福祉地域連絡会」に当事者・家族が参加した。</p> <p>また、東京都の地域移行コーディネーターや保健センターなどと入院中の精神障害者の実態把握方法について検討し、令和 6 年 1 月に品川区に住所のある 65 歳未満の長期入院精神障害者が入院している医療機関に対し、地域生活への移行調査を行った。速報値では、品川区に住所のある 65 歳未満の長期入院精神障害者 46 人のうち、7 人の地域移行対象者を把握した。</p> <p>今後、地域移行を具体的に進めるため、グループホームなどの住まいの確保を図るとともに、保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら取り組む。</p>																																																																	

成果目標 3		地域生活支援拠点等の整備																										
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和 5 年度末までの目標】</p> <p>地域生活支援拠点のための主な機能である「相談、緊急時の受入れ、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり」の 5 つの機能の充実を図っていく。</p> <p>①地域生活支援拠点等の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実</td> <td colspan="3">地域生活拠点の 5 つの機能の充実を図る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②地域生活支援拠点等の機能の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td colspan="3">年一回以上、運用状況の検証および検討を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方			充実	地域生活拠点の 5 つの機能の充実を図る。			目標値	目標値設定の考え方			実施	年一回以上、運用状況の検証および検討を実施する。									
	目標値	目標値設定の考え方																										
充実	地域生活拠点の 5 つの機能の充実を図る。																											
目標値	目標値設定の考え方																											
実施	年一回以上、運用状況の検証および検討を実施する。																											
主な内容 (実績等)	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3 年度</th> <th>R4 年度</th> <th>R5 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 地域生活支援拠点設置数</td> <td>3 か所</td> <td>3 か所</td> <td>3 か所</td> </tr> <tr> <td>② 運用状況の検証・検討の実施回数</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> <td>1 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【5 つの機能】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.相談</td> <td>区関係部署やサービス提供事業所・相談支援事業所と連携し、相談・情報提供体制の強化を図った。</td> </tr> <tr> <td>2.緊急時の受入れ</td> <td>介護者の負担軽減を図るため、短期入所施設の活用を図った。 医療的ケアを要する障害児者に対する医療ショートステイ事業を実施した。 緊急時の受入れができる障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。</td> </tr> <tr> <td>3.体験の機会・場</td> <td>地域移行を進めるため、区立障害児者総合支援施設の生活体験室について、活用した。 体験の場を備えた障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。</td> </tr> <tr> <td>4.専門的人材の確保・養成</td> <td>移動支援・同行援護の従業者養成研修を実施し、支援者の養成に努めた。</td> </tr> <tr> <td>5.地域の体制づくり</td> <td>「地域生活支援拠点検討会」を開催し、地域生活支援拠点等の機能について検討した。</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	① 地域生活支援拠点設置数	3 か所	3 か所	3 か所	② 運用状況の検証・検討の実施回数	1 回	1 回	1 回	区分	内容	1.相談	区関係部署やサービス提供事業所・相談支援事業所と連携し、相談・情報提供体制の強化を図った。	2.緊急時の受入れ	介護者の負担軽減を図るため、短期入所施設の活用を図った。 医療的ケアを要する障害児者に対する医療ショートステイ事業を実施した。 緊急時の受入れができる障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。	3.体験の機会・場	地域移行を進めるため、区立障害児者総合支援施設の生活体験室について、活用した。 体験の場を備えた障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。	4.専門的人材の確保・養成	移動支援・同行援護の従業者養成研修を実施し、支援者の養成に努めた。	5.地域の体制づくり	「地域生活支援拠点検討会」を開催し、地域生活支援拠点等の機能について検討した。
区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度																									
① 地域生活支援拠点設置数	3 か所	3 か所	3 か所																									
② 運用状況の検証・検討の実施回数	1 回	1 回	1 回																									
区分	内容																											
1.相談	区関係部署やサービス提供事業所・相談支援事業所と連携し、相談・情報提供体制の強化を図った。																											
2.緊急時の受入れ	介護者の負担軽減を図るため、短期入所施設の活用を図った。 医療的ケアを要する障害児者に対する医療ショートステイ事業を実施した。 緊急時の受入れができる障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。																											
3.体験の機会・場	地域移行を進めるため、区立障害児者総合支援施設の生活体験室について、活用した。 体験の場を備えた障害者グループホーム「区立出石つばさの家」(西大井 3 丁目)が竣工した。																											
4.専門的人材の確保・養成	移動支援・同行援護の従業者養成研修を実施し、支援者の養成に努めた。																											
5.地域の体制づくり	「地域生活支援拠点検討会」を開催し、地域生活支援拠点等の機能について検討した。																											
区分	評価 (C) および改善 (A)																											
令和 5 年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>地域生活支援拠点等の充実を図るため、令和 5 年度に地域生活支援拠点の運用検証のためのセルフチェックを実施した。また、拠点コーディネーターが地域移行の対応をしたケースは 8 人だった。地域移行に向けて地域生活支援拠点の 5 つの機能のうち体験の場を活用した。拠点コーディネーターが緊急対応をしたケースは 178 件だった。</p> <p>障害者グループホーム「区立出石つばさの家」が竣工し、令和 6 年 4 月に開設。 「区立出石つばさの家」では、短期入所を併設し、緊急時の受入れに対応するとともに、福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する。</p> <p>なお、令和 6 年度は、地域生活支援拠点等として必要な研修を整理し、研修内容の充実を図る。</p>																											

成果目標 4		福祉施設から一般就労への移行等																																															
計画 (P)	目標値	【令和5年度末までの目標】																																															
		① 就労移行支援事業等を通じて、令和5年度に一般就労に移行する者の数																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般就労移行者数</td> <td>令和元年度の1.27倍以上(126人)</td> <td>福祉施設を退所して一般就労に移行した人数</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【内訳】</td> </tr> <tr> <td>就労移行支援事業所利用者数</td> <td>令和元年度の1.3倍以上(90人)</td> <td>就労移行支援の利用者で一般就労した人数</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援A型利用者数</td> <td>令和元年度の1.26倍以上(1人)</td> <td>就労継続支援A型の利用者で一般就労した人数</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型利用者数</td> <td>令和元年度の1.23倍以上(1人)</td> <td>就労継続支援B型の利用者で一般就労した人数</td> </tr> </tbody> </table>				区分	目標値	目標値設定の考え方	一般就労移行者数	令和元年度の1.27倍以上(126人)	福祉施設を退所して一般就労に移行した人数	【内訳】			就労移行支援事業所利用者数	令和元年度の1.3倍以上(90人)	就労移行支援の利用者で一般就労した人数	就労継続支援A型利用者数	令和元年度の1.26倍以上(1人)	就労継続支援A型の利用者で一般就労した人数	就労継続支援B型利用者数	令和元年度の1.23倍以上(1人)	就労継続支援B型の利用者で一般就労した人数																										
		区分	目標値	目標値設定の考え方																																													
一般就労移行者数	令和元年度の1.27倍以上(126人)	福祉施設を退所して一般就労に移行した人数																																															
【内訳】																																																	
就労移行支援事業所利用者数	令和元年度の1.3倍以上(90人)	就労移行支援の利用者で一般就労した人数																																															
就労継続支援A型利用者数	令和元年度の1.26倍以上(1人)	就労継続支援A型の利用者で一般就労した人数																																															
就労継続支援B型利用者数	令和元年度の1.23倍以上(1人)	就労継続支援B型の利用者で一般就労した人数																																															
② 一般就労移行者のうち就労定着支援事業の利用割合																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労定着支援事業の利用割合</td> <td>7割</td> <td>一般就労移行者のうち、就労定着支援事業を利用した人数の割合</td> </tr> </tbody> </table>				区分	目標値	目標値設定の考え方	就労定着支援事業の利用割合	7割	一般就労移行者のうち、就労定着支援事業を利用した人数の割合																																								
区分	目標値	目標値設定の考え方																																															
就労定着支援事業の利用割合	7割	一般就労移行者のうち、就労定着支援事業を利用した人数の割合																																															
③ 就労定着支援事業による就労定着率																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労定着率8割以上の事業所の割合</td> <td>7割</td> <td>就労定着支援事業所のうち就労定着率が8割以上の事業所が全体の7割以上</td> </tr> </tbody> </table>				区分	目標値	目標値設定の考え方	就労定着率8割以上の事業所の割合	7割	就労定着支援事業所のうち就労定着率が8割以上の事業所が全体の7割以上																																								
区分	目標値	目標値設定の考え方																																															
就労定着率8割以上の事業所の割合	7割	就労定着支援事業所のうち就労定着率が8割以上の事業所が全体の7割以上																																															
↓ 実施 (D)	主な内容 (実績等)	【実績】 ※令和6年3月末時点																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 一般就労移行者数</td> <td>60人</td> <td>53人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td> 就労移行支援事業所からの移行</td> <td>60人</td> <td>52人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td> 就労継続支援A型事業所からの移行</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td> 就労継続支援B型事業所からの移行</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>② 就労定着支援事業の利用割合</td> <td>40%</td> <td>36%</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>③ 就労定着率80%以上の事業所の割合</td> <td>66%</td> <td>71%</td> <td>57%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R3年度	R4年度	R5年度	① 一般就労移行者数	60人	53人	66人	就労移行支援事業所からの移行	60人	52人	61人	就労継続支援A型事業所からの移行	0人	0人	2人	就労継続支援B型事業所からの移行	0人	1人	3人	② 就労定着支援事業の利用割合	40%	36%	31%	③ 就労定着率80%以上の事業所の割合	66%	71%	57%																
		区分	R3年度	R4年度	R5年度																																												
		① 一般就労移行者数	60人	53人	66人																																												
就労移行支援事業所からの移行	60人	52人	61人																																														
就労継続支援A型事業所からの移行	0人	0人	2人																																														
就労継続支援B型事業所からの移行	0人	1人	3人																																														
② 就労定着支援事業の利用割合	40%	36%	31%																																														
③ 就労定着率80%以上の事業所の割合	66%	71%	57%																																														
【主な活動指標】 ※各年度年間平均値																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就労移行支援</td> <td>人/月</td> <td>149</td> <td>122</td> <td>169</td> <td>128</td> <td>191</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援A型</td> <td>人/月</td> <td>76</td> <td>67</td> <td>77</td> <td>65</td> <td>77</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型</td> <td>人/月</td> <td>395</td> <td>374</td> <td>398</td> <td>378</td> <td>403</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td>就労定着支援</td> <td>人/月</td> <td>54</td> <td>55</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>58</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>				区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度		見込	実績	見込	実績	見込	実績	就労移行支援	人/月	149	122	169	128	191	134	就労継続支援A型	人/月	76	67	77	65	77	62	就労継続支援B型	人/月	395	374	398	378	403	387	就労定着支援	人/月	54	55	56	59	58	64
区分	単位	R3年度				R4年度		R5年度																																									
		見込	実績	見込	実績	見込	実績																																										
就労移行支援	人/月	149	122	169	128	191	134																																										
就労継続支援A型	人/月	76	67	77	65	77	62																																										
就労継続支援B型	人/月	395	374	398	378	403	387																																										
就労定着支援	人/月	54	55	56	59	58	64																																										
区分		評価 (C) および改善 (A)																																															
令和5年度		<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>① 令和3年度から令和5年度の支援実績は、コロナ禍の影響を大きく受けたため、令和6年3月末時点で、就労移行支援事業所から一般就労への移行者は66人となり、令和5年度末までの目標値90人を達成できなかった。</p> <p>令和6年3月末時点で、就労継続支援A型事業所からの移行者は2人であり、令和5年度末までの目標値1人を達成した。</p> <p>令和6年3月末時点で、就労継続支援B型事業所からの移行者は3人であり、令和5年度末までの目標値1人を達成した。</p>																																															

令和5年度

② 令和6年3月末時点で、就労定着支援事業の利用割合は31%で、令和5年度末までの目標値の7割を達成できなかった。

③ 令和6年3月末時点で、就労定着率80%以上の事業所の割合は57%で、令和5年度末までの目標値の7割以上を達成できなかった。

令和5年度は、区内における就労環境の分析を行なうとともに、地域自立支援協議会の就労支援部会と連携して、モデル実施した事例についてシンポジウムで報告した。

なお、令和6年度は、「品川区地域自立支援協議会就労支援部会」を活用して、事業者と連携し、一般就労を増やす。併せて超短時間雇用を進めるため、専任のコーディネーターを配置し、超短時間雇用に適した企業とのマッチングを行う。

また、自営や企業で働く重度障害者等の就労を支援するため、雇用施策との連携による「重度障害者等就労支援特別事業」を活用していく。

成果目標 5		障害児支援の提供体制の整備等																																																																			
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和5年度末までの目標】</p> <p>①児童発達支援センターの設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2か所</td> <td>1か所目の児童発達支援センター「品川児童学園」の機能の充実を図り、2か所目の開設を目指す。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②保育所等訪問支援の体制整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実</td> <td>保育所等訪問支援の充実を図る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>③重症心身障害児の支援体制の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児 発：2か所 放デイ：3か所</td> <td>重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所および放課後等デイサービスを1か所以上確保する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④医療的ケア児支援のための関係機関等の協議の場の設置および開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置する 年1回以上開催</td> <td>「医療的ケア児等支援関係機関連絡会」を設置し、年1回以上開催する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤医療的ケア児等コーディネーターの配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3人配置</td> <td>東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の修了者を区内施設等に配置する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方	2か所	1か所目の児童発達支援センター「品川児童学園」の機能の充実を図り、2か所目の開設を目指す。	目標値	目標値設定の考え方	充実	保育所等訪問支援の充実を図る。	目標値	目標値設定の考え方	児 発：2か所 放デイ：3か所	重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所および放課後等デイサービスを1か所以上確保する。	目標値	目標値設定の考え方	設置する 年1回以上開催	「医療的ケア児等支援関係機関連絡会」を設置し、年1回以上開催する。	目標値	目標値設定の考え方	3人配置	東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の修了者を区内施設等に配置する。																																												
	目標値	目標値設定の考え方																																																																			
2か所	1か所目の児童発達支援センター「品川児童学園」の機能の充実を図り、2か所目の開設を目指す。																																																																				
目標値	目標値設定の考え方																																																																				
充実	保育所等訪問支援の充実を図る。																																																																				
目標値	目標値設定の考え方																																																																				
児 発：2か所 放デイ：3か所	重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所および放課後等デイサービスを1か所以上確保する。																																																																				
目標値	目標値設定の考え方																																																																				
設置する 年1回以上開催	「医療的ケア児等支援関係機関連絡会」を設置し、年1回以上開催する。																																																																				
目標値	目標値設定の考え方																																																																				
3人配置	東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の修了者を区内施設等に配置する。																																																																				
主な内容 (実績等)	<p>【実績】</p> <p>①児童発達支援センターの設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童発達支援センターの設置数</td> <td>1か所</td> <td>1か所</td> <td>1か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>・2か所目の児童発達支援センターの設置に向けて、検討を進めた。</p> <p>②保育所等訪問支援の体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援事業所の誘致に努めた。 ・保育所等訪問支援の周知を図るため、区立保育園・区立幼稚園の職員に向けた保育所等訪問支援の説明会を開催した。 <p>【主な活動指標】 ※各年度年間平均値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">R3年度</th> <th colspan="2">R4年度</th> <th colspan="2">R5年度</th> </tr> <tr> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> <th>見込</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">保育所等訪問支援</td> <td>人/月</td> <td>15</td> <td>29</td> <td>20</td> <td>43</td> <td>25</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>日/月</td> <td>24</td> <td>50</td> <td>31</td> <td>76</td> <td>40</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>③重症心身障害児の支援体制の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童発達支援</td> <td>1か所</td> <td>2か所</td> <td>2か所</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス</td> <td>2か所</td> <td>2か所</td> <td>2か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>④医療的ケア児支援のための関係機関等の協議の場の設置および開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協議の場の設置 開催回数</td> <td>設置 1回</td> <td>設置 1回</td> <td>設置 2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤医療的ケア児等コーディネーターの配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置人数</td> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R3年度	R4年度	R5年度	児童発達支援センターの設置数	1か所	1か所	1か所	区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度		見込	実績	見込	実績	見込	実績	保育所等訪問支援	人/月	15	29	20	43	25	62	日/月	24	50	31	76	40	111	区分	R3年度	R4年度	R5年度	児童発達支援	1か所	2か所	2か所	放課後等デイサービス	2か所	2か所	2か所	区分	R3年度	R4年度	R5年度	協議の場の設置 開催回数	設置 1回	設置 1回	設置 2回	区分	R3年度	R4年度	R5年度	配置人数	5人	7人	7人
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																																																		
児童発達支援センターの設置数	1か所	1か所	1か所																																																																		
区分	単位	R3年度		R4年度		R5年度																																																															
		見込	実績	見込	実績	見込	実績																																																														
保育所等訪問支援	人/月	15	29	20	43	25	62																																																														
	日/月	24	50	31	76	40	111																																																														
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																																																		
児童発達支援	1か所	2か所	2か所																																																																		
放課後等デイサービス	2か所	2か所	2か所																																																																		
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																																																		
協議の場の設置 開催回数	設置 1回	設置 1回	設置 2回																																																																		
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																																																		
配置人数	5人	7人	7人																																																																		

区分	評価（C）および改善（A）
令和 5 年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>① 令和 5 年度に 2 か所目の大原児童発達支援センターの改修設計、令和 6～7 年度に改修工事・運営事業者公募を実施し、令和 7 年度に開設の予定である。 また、令和 5 年度に 3 か所目の児童発達支援センター（小山台住宅等跡地複合施設）の基本設計、令和 6 年度に実施設計、令和 7～9 年度に建設工事を実施し、令和 9 年度に開設の予定である。</p> <p>② 新規事業所の誘致を行い、保育所等訪問支援事業所を 1 か所新規開設した。 また、令和 3 年度から関係機関への周知を継続してきたこともあり、保育所等訪問支援の利用者数は、令和 5 年度は 62 人と見込量を大きく上回った。</p> <p>③ 新規事業所の誘致を行ったが、新たな事業所開設に至らなかった。過去 3 年間で児童発達支援事業所 2 か所の目標は達成したが、放課後等デイサービス 3 か所の目標は達成出来なかった。看護師等の人材や適切な場所の確保等が事業所開設の課題となっているが、運営費助成を行い、引き続き事業所誘致を図る。</p> <p>④ 医療的ケア児等関係機関連絡会を令和 5 年 12 月、令和 6 年 3 月に開催した。医療的ケア児等コーディネーターは 7 人を配置して目標を達成した。また、インクルーシブひろばベルにおいて、医療的ケア児等コーディネーターが医療的ケア児に関する子育て等の相談を受けている。 令和 6 年度以降の取組みとしては、「品川区医療的ケア児等支援関係機関連絡会」の開催や医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業等、重症心身障害児・医療的ケア児への包括的な支援の構築を進める。</p>

成果目標 6		相談支援体制の充実・強化等																																			
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和5年度末までの目標】</p> <p>①障害の種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実</td> <td colspan="3">基幹相談支援センターにおける相談機能、地域の相談支援機関それぞれの役割と連携方法を整理し、相談支援体制の充実と周知を図る。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実</td> <td colspan="3">地域拠点相談支援センターや「品川区地域自立支援協議会」を有効に活用する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>③相談支援事業者の人材育成の支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8回/年</td> <td colspan="3">「福祉カレッジ」(品川介護福祉専門学校)で研修を実施する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④地域の相談機関との連携強化の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6回/年</td> <td colspan="3">「相談支援事業所連絡会」を開催する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方			充実	基幹相談支援センターにおける相談機能、地域の相談支援機関それぞれの役割と連携方法を整理し、相談支援体制の充実と周知を図る。			目標値	目標値設定の考え方			充実	地域拠点相談支援センターや「品川区地域自立支援協議会」を有効に活用する。			目標値	目標値設定の考え方			8回/年	「福祉カレッジ」(品川介護福祉専門学校)で研修を実施する。			目標値	目標値設定の考え方			6回/年	「相談支援事業所連絡会」を開催する。		
	目標値	目標値設定の考え方																																			
充実	基幹相談支援センターにおける相談機能、地域の相談支援機関それぞれの役割と連携方法を整理し、相談支援体制の充実と周知を図る。																																				
目標値	目標値設定の考え方																																				
充実	地域拠点相談支援センターや「品川区地域自立支援協議会」を有効に活用する。																																				
目標値	目標値設定の考え方																																				
8回/年	「福祉カレッジ」(品川介護福祉専門学校)で研修を実施する。																																				
目標値	目標値設定の考え方																																				
6回/年	「相談支援事業所連絡会」を開催する。																																				
主な内容 (実績等)	<p>【実績】</p> <p>① 障害の種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな相談支援事業所も含めて相談支援マニュアルについて確認を行った。 ・地域自立支援協議会相談支援部会において、地域生活移行に関するアンケート調査を施設入所者に対して行った。 ・令和5年度より、各種テーマの講義研修や事例検討を定期的に行った。 <p>②地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点相談支援センターにて、指定特定相談支援事業者に対し、訪問等による支援を行った。 ・基幹相談支援センター・地域拠点相談支援センターが指定特定相談支援事業者へ助言をする事例検討を行った。 <p>③相談支援事業者の人材育成の支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉カレッジの開催</td> <td>8回</td> <td>7回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>相談支援専門員向け研修 (講義・事例検討)</td> <td>0回</td> <td>0回</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table> <p>④地域の相談機関との連携強化の取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談支援事業所連絡会</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R3年度	R4年度	R5年度	福祉カレッジの開催	8回	7回	9回	相談支援専門員向け研修 (講義・事例検討)	0回	0回	11回	区分	R3年度	R4年度	R5年度	相談支援事業所連絡会	3回	3回	3回													
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																		
福祉カレッジの開催	8回	7回	9回																																		
相談支援専門員向け研修 (講義・事例検討)	0回	0回	11回																																		
区分	R3年度	R4年度	R5年度																																		
相談支援事業所連絡会	3回	3回	3回																																		
区分	評価 (C) および改善 (A)																																				
令和5年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>① 令和5年度より、各種テーマの講義研修や事例検討を定期的に行った。 また、相談拠点をつなぐ相談支援システムネットワークの運用を開始し、相談支援体制を強化した。</p>																																				

令和 5 年度

令和 4 年度末に「品川区地域自立支援協議会相談支援部会」で施設入所者に対して、地域生活移行に関するアンケート調査を実施し、令和 5 年 4 月集計結果として、19 人の地域移行対象者を把握した。

調査結果から、本人の移行希望の確認ができた人について、優先的に取り組み、本人の移行希望が確認できていない人についても、意思決定支援など必要な支援を行い、取り組みを進めている。

- ② 品川区地域自立支援協議会全体会や相談支援部会での課題検討や意見交換を通じて、相談支援専門員が自発的に考え、協働して取り組む機会が増えた。
地域拠点相談支援センターにて、指定特定相談支援事業者に対し、訪問等による支援を行い、連携の強化を図った。基幹相談支援センター・地域拠点相談支援センターが指定特定相談支援事業者へ助言をする事例検討を行った。
- ③ 福祉カレッジは、3 月末までに 9 回開催して目標を達成した。
また、基幹相談支援センターとして相談支援専門員向けの研修を実施し、専門的人材の育成を図った。
- ④ 相談支援事業所連絡会を 3 回開催した。目標は未達成であったが、相談支援事業所連絡会以外でも、情報共有の場を設けたことで関係機関との連携を強化することができた。

成果目標 7		障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築																			
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>【令和5年度末までの目標】</p> <p>①障害福祉サービス等に係る各種研修の活用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20人/年</td> <td colspan="3">都道府県が実施する障害福祉サービス等に係る研修や、その他の研修に参加する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>②障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th colspan="3">目標値設定の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制構築</td> <td colspan="3">障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果を分析してその結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制を構築する。</td> </tr> </tbody> </table>				目標値	目標値設定の考え方			20人/年	都道府県が実施する障害福祉サービス等に係る研修や、その他の研修に参加する。			目標値	目標値設定の考え方			体制構築	障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果を分析してその結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制を構築する。		
	目標値	目標値設定の考え方																			
20人/年	都道府県が実施する障害福祉サービス等に係る研修や、その他の研修に参加する。																				
目標値	目標値設定の考え方																				
体制構築	障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果を分析してその結果を活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制を構築する。																				
主な内容 (実績等)	<p>【実績】</p> <p>①障害福祉サービス等に係る各種研修の活用 ※令和6年3月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修参加人数</td> <td>36人</td> <td>31人</td> <td>44人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有 システム活用により給付情報審査結果を確認し、当該事業所等と請求に係る情報を共有した。</p>				区分	R3年度	R4年度	R5年度	研修参加人数	36人	31人	44人									
区分	R3年度	R4年度	R5年度																		
研修参加人数	36人	31人	44人																		
区分	評価 (C) および改善 (A)																				
令和5年度	<p>【目標等を踏まえた評価や改善方法、次年度における取組等】</p> <p>① 都などの専門研修を活用し、引き続き区職員および障害福祉サービス従事者のスキルアップを図った。研修参加人数は44人と目標を達成した。</p> <p>② サービス提供事業所と審査結果を共有等し事業所の適正な運営確保と給付請求の適正化に活用した。</p>																				

3. 障害福祉サービス

(1) 訪問系サービス

居宅介護	自宅において、入浴、排せつおよび食事等の介護、調理、洗濯および掃除等の家事ならびに生活等に関する相談および助言、その他の生活全般にわたる援助を行う。
重度訪問介護	重度の障害のある方で、常に介護を必要とする人に、自宅において、入浴、排せつおよび食事等の介護、調理、洗濯および掃除等の家事ならびに生活等に関する相談および助言、その他の生活全般にわたる援助ならびに外出時における移動中の介護を総合的に行う。
同行援護	視覚障害により移動に著しい困難を有する人に、外出時において同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排せつおよび食事等の介護、その他必要な援助を行う。
行動援護	障害のある人が行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護、排せつ及び食事等の介護、その他行動する際に必要な援助を行う。
重度障害者等包括支援	重度の障害がある人に対し、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、生活介護、短期入所、共同生活援助、自立訓練、就労移行支援および就労継続支援を包括的に提供する。

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
居宅介護	人/月	145	168	180	180	205
	時間/月	2,348	3,105	3,343	4,428	3,641
重度訪問介護	人/月	39	31	31	45	37
	時間/月	5,490	4,393	4,475	6,710	7,292
同行援護	人/月	69	79	82	79	87
	時間/月	1,595	1,742	1,915	2,670	2,023
行動援護	人/月	0	0	0	3	0
	時間/月	0	0	0	258	0
重度障害者等 包括支援	人/月	0	0	0	1	0
	時間/月	0	0	0	730	0
合計	人/月	253	278	293	308	329
	時間/月	9,433	9,240	9,733	14,796	12,956

※実績および見込量は各年度の年間平均値。

(2) 日中活動系サービス

生活介護	<p>常時介護を必要とする方に、主に昼間において、障害者支援施設等で行われる入浴、排せつ、食事等の介護、創作活動又は生産活動の機会の提供などのサービスを提供する。</p>
自立訓練	<p>【自立訓練（機能訓練）】 身体機能・生活能力の維持・向上等の支援に必要な身体障害者に対し、身体機能のリハビリテーション、歩行訓練、コミュニケーションや家事等の訓練、日常生活上の相談支援、就労移行支援事業所等の関係サービス機関との連絡調整等の支援を行う。</p> <p>【自立訓練（生活訓練）】 生活能力の維持・向上等の支援が必要な知的障害者・精神障害者に対し、食事や家事などの日常生活能力を向上するための支援、日常生活上の相談支援、就労移行支援事業所等の関係サービス機関との連絡調整等の支援を行う。</p>
就労移行支援	<p>一般就労を希望する対象者に、定められた期間、生産活動その他活動の機会を通して、一般就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を提供する。</p>
就労継続支援	<p>【就労継続支援A型】 一般就労が困難な方に対して、雇用契約に基づく就労の機会を提供する。また、一般就労に必要な知識及び能力の向上を図る支援を行う。</p> <p>【就労継続支援B型】 一般就労が困難な方や一定年齢に達している方に対して、就労や生産活動等の機会を提供し、知識・能力の向上・維持を図る支援を行う。</p>
就労定着支援	<p>就労移行支援等を利用して一般就労に移行し、就労に伴う環境変化により生活面の課題は生じている障害者を対象として、企業や関係機関等との連絡調整やそれに伴う課題解決に向けて必要な支援を行います。</p>
療養介護	<p>病院等への長期入院による医療的ケアを要する障害児者で常時介護を要する人に対し、主に病院等で行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下での介護や日常生活上のサービスを提供する。</p>
短期入所	<p>介護を行う人の疾病、事故、出産等の理由により、障害児者等を一時的に居宅において介護できなくなったときに、施設等への短期間の入所により、入浴、排せつおよび食事の介護その他の必要な援助を行う。</p>

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
生活介護	人/月	481	490	502	517	496
	日/月	9,067	10,023	10,011	9,978	9,695
自立訓練(機能)	人/月	6	6	12	8	16
	日/月	63	62	126	116	197
自立訓練(生活)	人/月	20	28	35	23	37
	日/月	350	392	500	360	609
就労移行支援	人/月	117	122	128	191	134
	日/月	2,087	2,038	2,287	3,775	2,346
就労継続支援(A型)	人/月	64	67	65	77	62
	日/月	1,219	1,255	1,206	1,559	1,221
就労継続支援(B型)	人/月	369	374	378	403	387
	日/月	5,693	5,919	6,124	6,613	6,230
就労定着支援	人/月	51	55	59	58	64
療養介護	人/月	31	30	32	34	32
短期入所(福祉型)	人/月	60	87	97	134	110
	日/月	559	841	610	1,079	893
短期入所(医療型)	人/月	5	8	4	16	5
	日/月	22	52	21	72	25

※実績および見込量は各年度の年間平均値。

(3) 居住系サービス

自立生活援助	障害者支援施設やグループホーム等から一人暮らしへの移行を希望する知的障害者や精神障害者等を対象として、本人の意思を尊重した地域生活を支援するために、一定の期間にわたり定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言などの支援を行う。
共同生活援助	障害のある人に対して、共同生活を営む住居において、入浴、排せつまたは食事等の介護、その他の日常生活上の援助や相談、助言を行う。
施設入所支援	障害者支援施設に入所する人に対して、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談・助言のほか、必要な日常生活上の支援を行う。

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
自立生活援助 [内]精神障害者	人/月	0 [0]	0 [0]	0 [0]	3 [2]	4 [4]
共同生活援助 [内]精神障害者	人/月	200 [62]	246 [94]	258 [108]	228 [73]	279 [104]
施設入所支援	人/月	271	269	275	271	271

※実績および見込量は、各年度3月末の数値。

(4) 相談支援

計画相談支援	障害のある人が障害福祉サービスや地域相支援を利用するために、サービス等利用計画を作成する。この計画案を勘案して支給決定を受ける。その後一定期間ごとに支給決定されたサービスの利用状況をモニタリングし、サービス等利用計画の見直し等を行う。
地域移行支援	障害者支援施設に入所している人、または精神科病院に入院している精神障害のある人に対し、住居の確保やその他の地域生活に移行するための活動に関する相談・障害福祉サービス事業所等への同行支援等を行う。
地域定着支援	入所施設や精神科病院から退所・退院した人や、家族との同居から一人暮らしに移行した人、地域生活が不安定な人等が安定した地域生活を送れるよう、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急事態等に相談、緊急訪問、緊急対応等を行う。

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
計画相談支援	人/年	3,400	4,187	4,748	5,094	5,070
地域移行支援 [内]精神障害者	人/月	5 [5]	4 [4]	1 [1]	14 [10]	3 [3]
地域定着支援 [内]精神障害者	人/月	0 [0]	0 [0]	1 [1]	0 0	0 [0]

※計画相談支援の実績および見込量は各年度の年間累計値。

※実績および見込量は各年度の年間平均値。

4. 児童福祉法に基づく障害児支援

(1) 障害児通所支援

児童発達支援	療育の観点から集団療育および個別療育を行う必要があると認められる未就学の障害児を対象として、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。
医療型児童発達支援	肢体不自由児など重度で、理学療法等の機能訓練や医療管理下での支援が必要な未就学の障害児を対象に、日常性活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行う。併せて、身体状況により治療も行う。
放課後等デイサービス	就学している障害児を対象として、放課後や学校の長期休暇中に日中活動の場として、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を行う。
保育所等訪問支援	専門スタッフが保育所、幼稚園、小学校等を訪問し、障害児が障害児以外の児童との集団生活に適応することができるよう、障害児の身体・精神・環境に応じて、本人および訪問先のスタッフに適切かつ効果的な支援を行う。
居宅訪問型児童発達支援	重度の障害等の状態にあって、外出することが著しく困難な障害児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、その他必要な支援を行う。

(2) 相談支援

障害児相談支援	障害児通所支援を利用するために、障害児支援利用計画を作成する。一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行う。
---------	---

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
児童発達支援	人/月 日/月	465 2,847	594 3,422	691 4,067	657 6,570	766 4,560
医療型児童発達支援	人/月 日/月	6 34	9 60	8 52	11 92	7 44
放課後等デイサービス	人/月 日/月	492 3,204	605 3,657	777 4,369	641 5,769	893 5,633
保育所等訪問支援	人/月 日/月	10 20	29 50	43 76	25 40	62 111
居宅訪問型児童発達支援	人/月 日/月	1 10	2 11	1 11	5 30	2 11
障害児相談支援	人/年	1,240	2,439	3,001	1,408	3,264

※障害児相談支援の実績および見込量は、各年度の年間累計値。

※実績および見込量は各年度の年間平均値。

5. 地域生活支援事業

(1) 必須事業

理解促進研修 ・啓発事業	障害のある人が日常生活および社会生活を営む上で生じる社会的障壁をなくすため、障害者への理解を深めることを目的とした、啓発事業等（イベントの開催や啓発活動）を通じて地域住民への働きかけを行い共生社会への実現を目指す。
相談支援事業	障害のある人の福祉に関する様々な問題について、障害のある人などからの相談に応じ、必要な情報の提供、生涯福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行う。
成年後見制度利用 支援事業	障害のある人の権利擁護の視点から、成年後見等開始審判を受けた障害者で、成年後見人等および監督人への報酬の支払いが困難な人に当該費用の一部または全部を助成する。
成年後見制度 法人後見支援事業	障害のある人の権利擁護の観点から、成年後見制度における後見等の業務を適正に行うことができる法人を確保し、法人後見の活動を支援する事業。
意思疎通支援事業	聴覚、言語・音声機能、視覚その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人のために、手話通訳者や要約筆記者の派遣、点訳、代筆、代読、音声訳による支援などを行う。
日常生活用具 給付等事業	重度の障害のある人等に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具の給付または貸与を行う。
手話奉仕員養成 研修事業	聴覚障害のある人との交流活動の促進、区の広報活動などの支援者として期待される手話奉仕員（日常会話程度の手話表現技術を取得した者）の養成研修を行う。
移動支援事業	屋外での活動が困難な人に対して、外出のための支援を行うことにより、障害者等の地域における自立生活および社会参加を促すことを目的とした事業。
地域活動支援センター	創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等を図るとともに、日常生活に必要な支援を行う。

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
理解促進研修 ・啓発事業	実施の有無	有	有	有	有	有
地域拠点相談 支援センター	設置数	4	5	5	5	5
基幹相談支援 センター	実施の有無	有	有	有	有	有
拠点相談支援センター等 機能強化事業	実施の有無	有	有	有	有	有
成年後見制度 利用支援事業	人/年	4	3	4	10	4
成年後見制度法人 後見支援事業	実施の有無	有	有	有	有	有
意思疎通支援事業						
手話通訳者派遣事業	件/年	689	1,071	1,103	867	1,037
要約筆記者派遣事業	件/年	10	25	29	117	66
手話通訳者設置事業	実施の有無	有	有	有	有	有
日常生活用具給付等事業	件/年	5,636	5,768	5,779	6,157	5,699
介護・訓練支援用具	件/年	7	13	20	50	9
自立生活支援用具	件/年	34	48	53	50	34
在宅療養等支援用具	件/年	56	44	54	47	51
情報・意思疎通支援用具	件/年	101	69	73	141	59
排泄管理支援用具	件/年	5,435	5,592	5,575	5,866	5,540
居宅生活動作補助用具 (住宅改善費)	件/年	3	2	4	3	6
手話奉仕員養成研修事業	人/年	0	7	8	9	5
移動支援事業	人/年 時間/年	1,022 11,708	750 13,090	1,383 15,187	1,725 29,325	1,622 16,729
地域活動支援センター	設置数 人/年	3 4,934	3 6,310	3 5,957	3 14,377	3 6,441

※実績および見込量は各年度の年間累計値。

(2) 任意事業

巡回入浴サービス事業	障害のある人の健康保持と家庭の負担軽減を図るため、入浴が困難な在宅の重度心身障害児者に巡回入浴車を派遣する。
日中一時支援事業	特別支援学校等に通学する障害児を介護している家族の就労支援や一時的休息のため、放課後や夏休み等長期休暇中の日中における活動の場を提供する。
障害者世帯ハウスクリーニング事業	障害のある人の世帯の衛生と健康保持を図るため、本人または家族によるハウスクリーニング（大掃除）が困難な世帯に、日常の清掃では手の及ばない箇所の清掃を実施する。
住宅設備改善費給付事業	身体に障害のある人が住宅を改造する場合に費用の一部補助を行い、本人や介護者の負担の軽減を図る。
障害者救急代理通報システム事業	障害のある人の世帯に、救急代理通報システムを設置し、緊急時（救急・火災等）の安全確保を図る。
自動車運転免許取得助成	障害のある人が自動車運転免許を取得する際、運転教習料の一部を補助することで、日常生活の利便性の向上および生活圏の拡大を図る。
自動車改造経費助成	上肢、下肢または体幹機能障害のある身体障害者手帳1・2級の人が、就労等に伴い自動車を取得し、自ら運転するために改造を必要とする場合、改造経費の一部を助成する。

【実績】

サービス名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		実績	実績	実績	見込量	実績
巡回入浴サービス事業	件/年	1,559	1,439	1,491	1,668	1,698
日中一時支援事業	人/年	5,974	6,110	6,634	9,534	6,605
障害者世帯ハウスクリーニング事業	件/年	45	52	46	51	41
住宅設備改善費給付事業	戸/年	3	2	4	3	1
障害者救急代理通報システム	戸/年	13	62	61	75	70
自動車運転免許取得助成	人/年	4	6	3	4	5
自動車改造経費助成	人/年	4	4	1	4	0

※実績および見込量は各年度の年間累計値。